



かがわ看護だより

105

平成31年4月20日

平成31年4月9日現在 会員数

6,844名

- 保健師 188名
- 助産師 253名
- 看護師 6,223名
- 准看護師 180名



(公社)香川県看護協会 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4

TEL: 087-864-9070 FAX: 087-864-9071

<http://kagawa-kango.com>

発行責任者/中村 明美



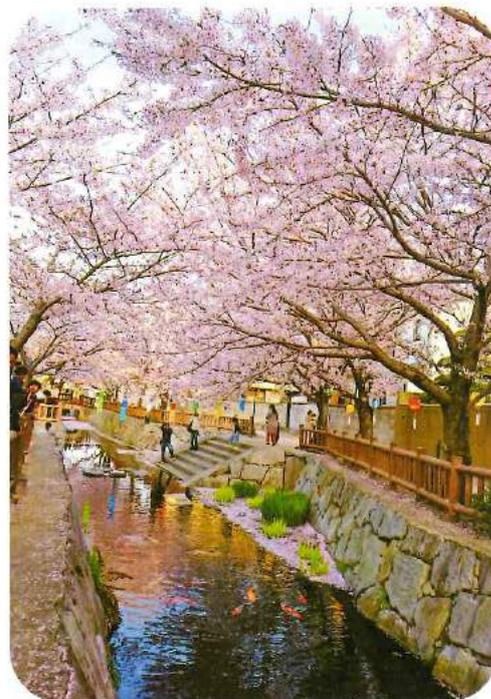
河津桜 東かがわ市湊川沿い



三豊市木篠城跡



朝日山森林公園



鹿の井出水

《目次》

定時総会の開催にあたって	2
2019年度定時総会及び職能合同交流集会プログラム	2
2019年度定時総会資料	3~8
予算の概要/2018年度職能委員会活動報告	9
第35回香川県看護学会開催	10~11
ライフスタイルに応じた 在宅生活を支援する看護職としての機能を発揮するために	12~13
看護専門職として第1歩を踏み出す皆さまへ 一少子超高齢社会が看護職に期待すること	14
特定行為研修を修了した看護師の実践報告(第3報)	14
2019年度4月~9月開催の研修案内	15
理事会報告/お知らせ	16

写真提供: 回生病院 宮武千明様/広報出版委員



定時総会の開催にあたって - 県内一看護職に取り組む -

公益社団法人 香川県看護協会

会長 中村 明美

梅が咲き、鶯が囀り、桜開花で平成最後の春爛漫の幕が上がります。

平成30年度の重点事業の一つは、地域包括ケアの実現を支える各支部での看護職連携活動の取り組みでした。各支部での取り組みは、地域の特徴を生かした持続可能な取り組みを目指しています。支部理事の皆さまは、所属施設の運営とともに地域に目を向けた活動を展開し、多職種と連携して香川の新たな地域社会を創りつつあります。平成31年度は、看護職連携のシステム完成となると期待しています。

継続教育充実への取り組みは3年目を迎えます。引き続き、新人教育、実習指導者教育、看護研究、看護管理者教育に注力していきます。是非、受講の機会を作っていただきたいです。

看護政策力の強化は、看護管理職のみならず全ての看護職に備わる力となる必要があります。看護師のクリニカルリーダー（日本看護協会版）の普及、新たな認定看護師制度推進、ナース・プラクティショナー制度の理解、賃金モデルの導入、職能団体への入会率アップ等、課題をひとつひとつ力に変えていきたいです。

働き方改革元年が始まっています。新たな制度とともに、一人ひとりの働き方の意識改革元年でもあり、皆さまの職場と同じく、看護協会事務局と協会立事業所はヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場、暴力やハラスメントのない職場）を目指しています。そして、活力と意欲をもって仕事に没頭できるワーク・エンゲイジメントの働き方を追究し、周囲への温かい眼差しを持ちつつ効果的・効率的な働きをしたいです。

2019年度定時総会及び職能合同交流集会プログラム

月 日 2019年6月16日（日）12:15～16:30

場 所 公益社団法人香川県看護協会看護研修センター 3階大ホール

プログラム

11:30	開場		
12:10	オリエンテーション		
12:15	定時総会 開会 物故会員への黙とう 会長挨拶 来賓祝辞		
12:45	議長団選出 議事録署名人決定		
12:50	審議事項および報告事項 報告事項1 2018年度 事業報告 第一号議案 2018年度 決算報告(案)及び監査報告	14:45	選挙結果発表 次年度選挙管理委員の任命 新役員・新推薦委員紹介 代表挨拶 旧役員・旧推薦委員紹介 代表挨拶
13:40	報告事項2 2019年度 日本看護協会通常総会報告 報告事項3 2019年度 重点事業並びに事業計画 報告事項4 2019年度 資金収支予算及び収支予算	14:55	定時総会 閉会
14:10	第二号議案 香川県看護協会会館維持管理費減額(案) 第三号議案 訪問看護ステーションこくぶの新築(案) 第四号議案 2019年度改選役員及び推薦委員 2020年度日本看護協会代議員・ 予備代議員の選出(選挙管理委員紹介、候補者紹介、投票)	15:00	職能合同交流集会 開会 職能委員長挨拶 2018年度活動報告 保健師職能委員会 助産師職能委員会 看護師職能委員会Ⅰ 看護師職能委員会Ⅱ 質疑応答・意見交換
		16:30	職能合同交流集会 閉会

2019年度定時総会資料

第二号議案 香川県看護協会会館維持管理費減額（案）

- 2020年度の新人会者から会館維持管理費50,000円を40,000円に減額する。（案）
 - 会館維持管理費の用途と経過
徴収開始時の約束どおり、会館維持管理費は「科目：維持管理費（光熱水費・保守点検警備費・委託清掃）」として年間5,000,000円を充当し、残額を会館建て替えのために積み立ててきた。しかし、①中ホールの建設、②第4駐車場の購入整備、③第3駐車場の購入、④空調設備の更新により2015年度までは積立金はない。
 - 現在（2016年度、2017年度）の会館維持管理費積立累計額：36,600,000円（H30.3.31現在）2018年度暫定額1,760万円
 - この度の減額（案）は、積立金が十分累積した結果ではなく、一定期間を経て減額する方針に従うものである。
 - 今後の積立目標
今後の30年間で約500,000,000円積み立てたい。平成11年建設時のように一人100,000円の負担金徴収を避けるためである。今後は、維持管理費のすべてを積み立て、毎年15,000,000円（15,000,000×30=450,000,000円）積み立てる。
 - 会館維持管理費30,000円に減額する時期には、会員一人当たり会費に1,000円上乗せ徴収についての検討が必要となる。
 - 今後の30年間で災害等による大規模修繕等が発生した場合は、理事会で検討決議する。
- 会館維持管理費から維持管理費として5,000,000円充当の回避が可能と判断したのは、会員増によるものである。しかし、とても厳しい決断であり、相変わらず事務局の経営は予断を許さない。

第三号議案 訪問看護ステーションこくぶ 新築（案）

- 敷地：香川県看護協会第3駐車場（南側）の一部
- 建築面積：約150㎡（駐車場12台分相当）
- 建築物：平屋建て
- 建築費用：3000万～3500万（自己資金）
- 建築理由：現在、同じフロアーに、訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・訪問看護ネットワークセンターを設置し、事務所が手狭になった。
- 歴史・概要：2000年2月に訪問看護ステーションこくぶを看護師3人で開所した。現在スタッフは、常勤・非常勤（看護師・理学療法士・作業療法士・事務職員）合わせて12名となった。2017年4月ネットワークセンター併設、同年9月には、居宅介護支援事業所こくぶを併設し、居宅介護支援専門員は3人に（いずれも看護師）。終末期や医療依存度の高い利用者の受け入れを積極的に行ない、経営状況は良好に経過している。

第四号議案 2019年度改選役員候補者（推薦委員会推薦）

会長候補者（定数1.改選1）

氏名	安藤 幸代	職種	看護師
協会活動歴	・副会長 ・監事 ・専務理事		
勤務先	香川県看護協会		
抱負	看護職をとり巻く環境が大きく変化しているなか、看護専門職の職能団体として、日本看護協会と連携して、働き方改革の推進、看護職連携活動、看護職の役割拡大等に皆様のお力を借りて推進して参ります。よろしくお願ひ申し上げます。		

副会長候補者（定数2.改選2）

氏名	村井由紀子	職種	看護師
協会活動歴	・監事		
勤務先	高松赤十字病院		
抱負	この度、推薦を頂き身の引き締まる思いです。医療を取り巻く環境が大きく変わろうとする中、香川県看護協会会員の皆様と一丸となり、元気で働き続けられる環境づくりに努めていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。		

副会長候補者

氏名	高島小百合	職種	看護師
協会活動歴	・認定看護管理者教育運営委員		
勤務先	香川県立中央病院		
抱負	今こそ、医療介護の場で働く看護職がスクラムを組み“生きる、をともに、つくる。”ことが最も重要な課題であると思ひます。看護協会の目標に添い協会員の皆様とともに創っていきたく思ひます。よろしくお願ひします。		

常任理事候補者（定数4.改選4）

氏名	三原山紀美	職種	看護師
協会活動歴	・常任理事 ・推薦委員 ・認定看護管理者教育運営委員		
勤務先	香川県看護協会		
抱負	看護専門職団体としての役割と責務が果たせるように努めてまいります。地域の人々の暮らしと尊厳を守る事ができる看護の専門職として看護の実践能力を高めていけるように人材育成に貢献してまいります。		

常任理事候補者

氏名	田中 邦代	職種	保健師
協会活動歴	・常任理事 ・保健師職能理事 ・ナースセンター部長		
勤務先	香川県看護協会		
抱負	私たちが暮らす地域は、様々な健康課題を抱えています。各々の地域の実情を把握しながら、皆様方のお力添えをいただき、微力ではありますが、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組みたいと考えています。		

常任理事候補者

氏名	岡田 諭子	職種	看護師
協会活動歴	・認定看護管理者教育運営委員 ・教育委員		
勤務先	香川県看護協会		
抱負	医療を取り巻く環境が大きく変化する中、少子高齢社会への対応や看護の専門性に基づく「その人らしい生活支援」ができる人材育成に向け、微力ながら教育環境づくりに努めてまいりたいと思ひます。		

第四号議案 2019年度改選役員候補者（推薦委員会推薦）

常任理事候補者

氏名	三村 真史	職種	看護師
協会活動歴	・副会長 ・監事 ・第3支部理事		
勤務先	前香川県立中央病院		
抱負	この度、推薦をいただき身の引き締まる思いです。県内で活動する看護職者の皆様が、施設や地域で生き活きと働き続けられるように皆様の声を反映させ、看護協会活動の推進に努めてまいります。よろしくお願ひ致します。		

職能理事候補者（定数4.改選3）

氏名	香西真由美	職種	保健師
協会活動歴	・保健師職能委員		
勤務先	高松市健康福祉局長寿福祉部		
抱負	少子超高齢社会の中で、保健師に求められる活動も変化してきています。会員の皆様方とともに、時代の流れに対応できる保健師の資質向上に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。		

職能理事候補者

氏名	村井山紀子	職種	看護師
協会活動歴	・監事		
勤務先	高松赤十字病院		
抱負	高齢者が増え続ける長寿時代において、看護ケアの充実がますます重要になっています。社会の期待に応えられる看護専門職として働き続けられるよう、協会活動に貢献していきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。		

職能理事候補者

氏名	山西 育子	職種	看護師
協会活動歴	・広報出版委員		
勤務先	訪問看護ステーションなつめ		
抱負	この度、看護職能委員会Ⅱ理事に推薦をいただきました。どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会を整備するために地域包括ケアシステムの構築が急がれています。そのためにも地域の看護職者の活躍が望まれています。施設で勤務する看護師や訪問看護師の皆様が輝けるよう、また、住宅や施設での自然な看護を推進していけるよう支援してまいりたいと思ひます。		

支部理事候補者（定数7.改選3）

氏名	赤松美智代	職種	看護師
協会活動歴	・第1支部理事 ・看護師職能委員 ・推薦委員		
勤務先	さぬき市民病院		
抱負	この度、第1支部理事として推薦を頂きました。香川県看護協会の重点事業にそって、地域包括ケアにおける看護の機能強化が図られるよう、会員の皆様とともに地域での役わりを果たしていきたいと思ひています。		

支部理事候補者

氏名	中 久美子	職種	看護師
協会活動歴	・推薦委員		
勤務先	小豆島中央病院		
抱負	地域包括ケアにおける看護提供体制の構築など、香川県看護協会の掲げる目標に添った支部活動が、会員の皆様と共に実践できるよう努力していきたいと思ひます。ご指導よろしくお願ひ致します。		

支部理事

氏名	藤原久己子	職種	看護師
協会活動歴			
勤務先	香川労災病院		
抱負	この度、第5支部理事としてご推薦いただきました。県外からの転入で、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、皆様にご支援・ご協力いただきながら、公益社団法人香川県看護協会の目的に沿った支援活動を行ってまいりたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。		

全支部理事候補者（定数1.改選1）

氏名	矢野 太一	職種	准看護師
協会活動歴	・全支部理事		
勤務先	坂出聖マルチン病院		
抱負	私たち准看護師一人一人が准看護師制度問題解決に向けて具体的に考え、生き生きと働き続けられる環境を整えながら全支部理事3期目の役割を果たせるよう努めていきたいと思ひます。		

監事候補者（定数2.改選1）

氏名	富山 清江	職種	看護師
協会活動歴	・認定看護管理者教育運営委員 ・推薦委員 ・学会委員		
勤務先	香川大学医学部附属病院		
抱負	この度、「監事として推薦をいただき身の引き締まる思いです。医療・介護の環境が急速に変化している中、看護職への役割期待はますます高まっています。このような中、公益社団法人として適正な運営を推進し、より良い環境づくりに貢献できるような監事として微力ながら務めさせていただきたいと思ひます。職務が遂行できますよう、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。		

第四号議案 2019年度推薦委員、2020年度日本看護協会代議員・予備代議員の候補者一覧

推薦委員候補者（定数6.改選3）

職種	氏名	勤務先	職種	氏名	勤務先
保健師	納田 幸代	香川県小豆総合事務所	看護師	平井 有美	香川労災病院
看護師	野崎 浩司	りつりん病院			

2020年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者

代 議 員			予 備 代 議 員		
職種	氏名	勤務先	職種	氏名	勤務先
保健師	香西真由美	高松市健康福祉局長寿福祉部	保健師	田中 邦代	香川県看護協会
保健師	松本 美称	穴吹医療大学校	助産師	和田 亜弓	香川大学医学部附属病院
助産師	内原 郁恵	四国こどもとおとなの医療センター	看護師	佐々木剛枝	高松市医師会看護専門学校
助産師	松尾なぎさ	小豆島中央病院	看護師	白崎千栄美	居宅介護支援事業所こくぶ
看護師	備酒一二美	永生病院	看護師	中 久美子	小豆島中央病院
看護師	村井山紀子	高松赤十字病院	看護師	細川保奈美	永康病院
看護師	山西 育子	訪問看護ステーションなつめ	看護師	三原由紀美	香川県看護協会
准看護師	矢野 太一	坂出聖マルチン病院	准看護師	中條 幸恵	キナシ大林病院

※職名・職種及び五十音順

報告事項 2019年度重点事業並びに事業計画

●重点事業

1. 地域包括ケアにおける看護の機能強化
 - 【重1-1】 地域包括ケアを支える各支部の看護職連携活動推進事業
 - 【重1-2】 包括的な母子支援事業
 - 【重1-3】 在宅・施設等の看護の機能強化事業
 - 【重1-4】 県内一看護職(けんないいちかんごしょく)事業(保健師・助産師・看護師出向)
2. 看護職の働き方改革の推進
 - 【重2-1】 看護職の働き方改革への取り組み事業(看護業務の効率化・生産性向上・賃金モデル導入)
 - 【重2-2】 看護職の県内就業と定着の推進事業(新人離職率の改善含む)
 - 【重2-3】 中小規模病院・施設等の労働環境改善事業

3. 少子超高齢社会で活躍する人材育成
 - 【重3-1】 継続教育の充実事業(看護研究、認定看護管理者教育、新人教育、実習指導者講習会等)
 - 【重3-2】 第51回日本看護学会-ヘルスプロモーション-学術集会ヘルスプロモーション-精神看護・慢性期看護の企画事業
 - 【重3-3】 特定行為研修制度、新たな認定看護師制度・看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)の普及推進事業
 - 【重3-4】 看護管理者の機能強化並びに政策力強化事業
4. 看護政策について熟知し、政策実現活動に参画
 - 【重4-1】 看護職能団体の政策力強化のための入会促進事業
 - 【重4-2】 日本看護協会が推進する「看護師基礎教育4年制化への制度改革」推進協力事業
 - 【重4-3】 ナース・プロテクトシヨナー(仮称)制度構築の理解と推進協力事業
 - 【重4-4】 准看護師制度が持つ課題の共有事業

●事業計画は定款第4条の6つの事業に沿って掲載

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度改善への提言に関する事業
4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

[*は日本看護協会主催会議]

1. 看護教育および学会等学術振興に関する事業(公益目的事業)

事業内容	事業内容
1) 継続教育の充実に係る事業 (1)看護研修計画の企画・実施・評価【重3-1】 ①2019年度看護研修計画の広報・実施・評価 (2)認定看護管理者の育成【重3-1】 (3)新人看護職員の育成【重3-1】 (4)実習指導者の育成【重3-1】 (5)看護の質保証の推進に関する事業【重3-3】 ①看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)の推進 ②医療安全管理 ③感染管理研修 ④フットケア研修(糖尿病重症化予防研修) ⑤災害支援ナースの養成 (6)訪問看護研修【重1-2】 (7)その他 2) 看護研究の推進【重3-1】 (1)第35回香川県看護学会の開催・評価 (2)香川県看護学会誌の発行 (3)看護研究の取り組み支援 3) 図書室機能の充実【重3-1】 (1)看護専門図書・雑誌・資料等の収集 (2)司書アシスト4(図書管理システム)の活用 (3)文献検索サービス (4)図書室ホームページ 4) 研修管理統合システムの充実 (1)研修管理システムの充実 (2)キャリアナース研修受講履歴の活用	*教育担当者会議(7/31) *教育委員会の開催(年10回予定) ・広報:「研修計画冊子」「ホームページ」「メール案内」 「かがわ看護だより」 ・質の高い看護人材を育成する教育・研修の企画 ・看護研修計画に沿った運営と実施 ・クリニカルラダーレベル到達内容に沿った研修の評価 ・アンケートと振り返りによる研修評価 ・認定看護管理者教育運営委員会 (年4回以上) ・認定看護管理者教育課程ファーストレベルの開催(53名) ・認定看護管理者教育課程セカンドレベルの開催(約40名) ・新人看護師対象研修 ・新人助産師対象研修 ・新人看護職員指導者対象研修 (研修責任者・教育担当者・実地指導者) ・保健師助産師看護師実習指導者講習会の開催(約40名) ・クリニカルラダー(DVD)研修会(4/20・8/17) ・JNAラダーの県内普及と推進 ・安全管理ネットワーク委員会 (年6回) ・医療安全管理者養成研修(約40名) ・医療安全管理者フォローアップ研修 ・2日間 ・3日間 (年6回) ・災害看護対策委員会 ・災害支援ナース新規登録者研修 ・災害支援ナースフォローアップ研修 ・訪問看護入門研修 ・訪問看護師養成講習会 ・訪問看護推進研修(訪問看護従事者・オーリーブナース) ・県等との共催研修ほか ・学会委員会 (年6回) ・第36回香川県看護学会(2020年1月) ・看護学会誌第11巻の発行(8月) ・研修開催・研究の個別指導、研究指導者のための研修 ・活用が促進されるような蔵書の整備と充実 ・ホームページでの新聞図書案内 ・ホームページの充実 ・医学中央雑誌ネット検索、最新看護索引Web検索、キャリアナース「資料室」 検索 ・統計ソフト利用の推進 ・受講履歴管理システムの活用(キャリアアップかがわ) ・会員カードのバーコード活用による研修受付

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益目的事業)

事業内容	事業内容
1) ナースセンター事業の強化【重2-2】 ①ナースバンク事業 (a) 求人・求職登録 (b) 無料職業紹介 (c) 看護職就労支援 (d) 潜在看護師の就労支援 (e) 看護職員確保・定着の促進	*ナースセンター事業担当者会議(5/23) *ナースセンター相談員研修(5/24) (月1回) ・ナースバンク委員会 ・看護職の定着・確保の「総合拠点」としての活動 ・NCCS、届出支援システム「とどけるん」の管理運用 ・再就業支援・相談、求人相談、各種相談 ・サテライト相談(ハローワーク高松・丸亀・観音寺で実施) ・看護職就労支援交流会の開催 年2回 ・看護力再開発講習会開催 基本コース 年2回(7月、1月~2月) 看護基礎技術コース 年3回(8/19、9/3、9/18) ・看護職員確保状況調査の実施 (5月~7月)

<p>②ナースセンター調整推進事業</p> <p>③かがわナースナビの活用推進</p> <p>④看護職員就職支援</p> <p>⑤看護職への進路選択支援</p> <p>2) 中小規模病院・施設等の労働環境改善事業 【重2-1】 【重2-2】 【重2-3】</p> <p>(1)多様な勤務形態導入促進事業</p> <p>①医療機関等管理者・中間管理者研修</p> <p>②「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」開催</p> <p>③好事例の紹介</p> <p>④看護代表者協議会での情報交換</p> <p>⑤医療環境改善支援センターの活動との協働</p> <p>(2)会員の社会経済福祉向上支援事業</p>	<p>・ナースセンターニュース発行 年2回(4月、10月)</p> <p>・ナースセンター事業運営委員会 年1回(10月)</p> <p>・かがわナースナビによる看護関係の最新情報の提供</p> <p>・看護職員合同就職説明会の開催(4/6)</p> <p>・高松シンボルタワーホール棟1階展示場</p> <p>・ハローワークとの協働による就職フェアの実施</p> <p>・中・高校生等を対象にふれあい看護体験 38施設(予定)</p> <p>・看護労働担当者会議(5/22)</p> <p>・看護職の労働時間管理の適正化に向けた取り組み</p> <p>・「夜勤・交代制勤務ガイドライン」の普及</p> <p>・年数回</p> <p>・夜勤・交代勤務環境改善フォーラム(3/7)</p> <p>・インデックス調査(6月)</p> <p>・推進ワークショップ(9/11)</p> <p>・推進フォローアップワークショップ(2/15)</p> <p>・ホームページ、看護だより等</p> <p>・医療分野の「雇用の質」の向上のための連絡協議会</p> <p>・社会経済福祉委員会(労働担当者委員会)(年8回程度)</p>
--	--

3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業(公益目的事業)

事業内容	
<p>1) 各職能の専門性強化に関する事業</p> <p>(1)保健師職能活動</p> <p>①地域包括ケアシステムの推進【重1-1】 【重1-2】</p> <p>②保健師の育成と現任教育体制の検討</p> <p>③統括保健師の役割・機能の普及と配置の推進</p> <p>④職能上の課題と対策検討・提言</p> <p>(2)助産師職能活動</p> <p>①地域と施設とのネットワークの検討【重1-2】</p> <p>②助産実践能力習熟段階(CLCCMiP[®])の推進</p> <p>③職能上の課題と対策検討・提言</p> <p>④院内助産・助産師外来・助産師出向の推進【重1-4】</p> <p>(3)看護師職能I活動</p> <p>①看・看護連携の促進とネットワーク推進【重1-1】</p> <p>②職能上の課題発見と提言</p> <p>(4)看護師職能II活動【重1-3】</p> <p>①施設看護職の資質向上とネットワークの推進</p> <p>②看取りガイドライン(29年3月改訂)の普及</p> <p>③職能上の課題発見と提言</p> <p>2) 看護政策力の強化【重3-4】 【重4】</p> <p>(1)県行政との懇談会開催</p> <p>(2)香川県看護代表者協議会運営【重3-4】</p> <p>(3)日本看護協会の重点政策・重点事業を県で展開</p> <p>①看護師基礎教育4年制化への制度改革活動【重4-2】</p> <p>②ナース・プラクティショナー(仮称)制度構築の理解と推進協力活動【重4-3】</p> <p>③「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)」の普及活動【重3-3】</p> <p>④准看護師制度が持つ課題の共有活動【重4-4】</p>	<p>*全国職能委員長会 1回(8/21)</p> <p>*地区別職能委員長会(10/15・16愛媛県)</p> <p>*日本看護協会全国職能別交流集会(6/7函館市)</p> <p>・県看護協会職能集会の運営(6/16)</p> <p>・看護だよりにより毎回活動記事掲載</p> <p>・理事会で進捗状況報告・相談・検討 (年4回)</p> <p>・病院や施設との継続看護の在り方検討(継続看護連絡票の見直し及び運用)(4職能合同)</p> <p>・職能合同企画による研修会の開催</p> <p>・連携強化・ネットワーク構築のための検討及び支援</p> <p>・中堅期保健師研修の協働開催(県・高松市・協会)</p> <p>・中堅期ファシリテーター研修及び保健指導ミーティング開催(10/17・11/14)</p> <p>・全国保健師長会との連携</p> <p>・保健師職能委員会 (月1回)</p> <p>・地域と施設との連携(継続看護連絡票の検討)(保健師職能と合同)</p> <p>・新人助産師研修会の開催</p> <p>・中四国合同ワークショップ(県で開催7/28)</p> <p>・研修の情報発信(オンデマンド、他団体)</p> <p>・助産師職能委員会</p> <p>・事業報告会の開催 (月1回)</p> <p>・看護師職能委員会I</p> <p>・全国看護職能I委員長会との連携</p> <p>・意見交換会及び情報共有会開催</p> <p>・関係者への情報発信と課題の集約 (月1回)</p> <p>・施設看護管理者交流会の開催</p> <p>・看取り研修の実施</p> <p>・看取りガイドラインの活用推進のための出前講座の実施</p> <p>・関係者への情報発信</p> <p>・看護師職能委員会II (月1回)</p> <p>・香川県関連部課等への要望・提言</p> <p>・看護政策研修会開催</p> <p>・代表者宣言発表</p> <p>・代表者協議会一教育部門の活動</p> <p>・会員数拡大(入会率50%)活動</p> <p>・看護師基礎教育4年制の課題の把握と広報</p> <p>・研修会・交流会により制度構築の理解の推進</p> <p>・看護師職能による「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)」の普及活動</p> <p>・准看護師が持つ課題把握</p> <p>・ステップアップ研修会開催(10/27)</p>
4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益目的事業)	
事業内容	
<p>1) 地域包括ケアの推進【重1-1】</p> <p>(1)支部活動地域看護の連携活動の強化</p> <p>(2)支部活動における他職種との連携推進</p> <p>(3)包括的な母子支援事業【重1-2】</p> <p>2) 在宅療養生活を支える訪問看護等の強化【重1-3】</p> <p>(1)訪問看護段階別研修事業</p> <p>(2)在宅医療及び訪問看護推進事業</p> <p>(3)訪問看護推進事業</p> <p>(4)訪問看護支援事業</p> <p>(5)在宅ケアサービスの提供</p> <p>(6)訪問看護ネットワーク強化事業</p>	<p>・研修会の開催(7支部合同による)</p> <p>・看護職連携会議・交流会等の開催</p> <p>・市町等の関係会議への参画</p> <p>・地域行事、コミュニティ活動等への参画</p> <p>・支部活動報告会の開催</p> <p>・連携のための会議・交流会の開催 (年1回3月)</p> <p>・3職能協働による切れ目ない支援への取り組み</p> <p>・医療的ケア見への在宅移行支援について現状把握</p> <p>*担当者会議(日程未定)</p> <p>・訪問看護師養成講習会</p> <p>・ラーニング及び集合同講習 (5月募集開始)</p> <p>・訪問看護推進研修</p> <p>・現任研修：在宅ケア・訪問看護師、オリブナース等</p> <p>・管理者研修：ステーション所長、管理者</p> <p>・訪問看護入門プログラムによる研修会の開催</p> <p>・病院及び訪問看護ステーション見学実習</p> <p>・訪問看護推進委員会 (月1回)</p> <p>・訪問看護推進協議会 (年2回)</p> <p>・訪問看護ステーション連絡協議会運営支援</p> <p>・訪問看護ネットワーク支援事業システム運営</p> <p>・訪問看護サポート事業(電話相談・出張相談・コンサルテーション)</p> <p>・各事業所運営</p> <p>・質の高いケアの提供及び地域への貢献</p> <p>①高松訪問看護ステーション</p> <p>②訪問看護ステーションこくぶ</p> <p>③まるがめ訪問看護ステーション</p> <p>④看護小規模多機能型居宅介護在宅ステーションみちしるべ</p> <p>・訪問看護ステーション連絡協議会との連携</p> <p>・訪問看護ネットワーク強化事業の推進</p>

<p>3) 「健やか香川21」「健やか親子21」の推進【重1-2】</p> <p>(1)まちの保健室事業（生活習慣病予防支援）</p> <p>(2)たばこ対策の推進事業</p> <p>(3)健全母性育成事業</p> <p>(4)学校教育への協力</p> <p>(5)子育て支援事業</p> <p>(6)従事者育成事業</p> <p>4) 地域福祉関連事業</p> <p>5) 喫煙吸引等研修事業【重1-3】</p> <p>6) 不妊・不育症相談事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 「健やか香川21」事業推進委員会 (年6回) - 健康相談（さぬきこどもの国）奇数月第3土曜日 13:00～15:30 (年6回) - 高松訪問看護ステーション 第2・第4木曜日 10:00～12:00 - みちしるべ 第1・第3木曜日 13:00～15:00 - 高松市保健室 毎週水曜日 13:30～15:30 - 県・市町・関係団体への協力 - スポーツレクリエーション祭、ボランティアフェスティバル等 (年3回) - 看護の日・看護週間等行事の実施（1～7支部） - まちの保健室と同時開催：奇数月第3土曜日 (年6回) - 県民、高校生、大学生等へ啓発活動 - 世界禁煙デー（5月31日）行事への参画 - 健全母性育成事業推進委員会 (年6回) - 思春期対策の在り方検討 - 「いのちのせんせい」授業に派遣（義務教育課） 小・中学校97校予定 - 香川県子育て県民会議等行事に協力 - いい育児の日フェスティバルに参加 - 地域子育て支援、相談（さぬきこどもの国） (年6回) - 従事者研修 まちの保健室1回、いのちのせんせい1回 - 高松市指定避難所（研修センター） - 高松市指定まちかど救急ステーション（研修センター・みちしるべ） - 同分等町ボランティア協会等への協力 - 喫煙吸引等研修実施委員会の開催 - 介護職員等に対する研修の開催 - 指導者講習の開催 - フォローアップ事業 （介護と医療の連携体制構築支援及び実技指導） - 看護職による不妊・不育症相談（電話・来所） 毎週月～金 10:00～16:00
--	---

5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業（公益目的事業/法人管理に関する事業）

	事業内容
<p>1) 災害時の看護支援活動</p> <p>(1)災害時看護支援</p> <p>①災害支援活動</p> <p>②災害支援ナース育成</p> <p>2) 当協会における災害時の対策及び活動</p> <p>3) 日本看護協会との連携【重4】</p> <p>4) 第51回日本看護学会－ヘルスプロモーション－学術集会企画【重3-2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 災害看護担当委員会（未定） - 香川県との合同訓練（8月予定） - 日本看護協会との合同訓練（未定） - 災害発生時、日看協会、他府県と連携・支援・派遣 - 災害支援ナースの登録と更新 - 災害支援ナースフォローアップ研修（9/6） - 災害支援ナース養成研修（基礎編）（7/25・26） - 災害支援ナース養成のための啓発活動 - 災害支援ナース新規登録者研修（8/7） - 必要物品の点検（年1回） - 当会における災害対応マニュアルの見直し (年6回程度) * 理事会 * 法人委員会（6回程度） * 日本看護協会通常総会（6/6・7） * 地区別法人委員会（10/15・16） - 2020年9月29・30日開催に向けた企画・運営の準備

6. その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業/法人管理に関する事業）

	事業内容
<p>1) 広報活動【重4】</p> <p>(1)県民・看護職・会員への情報提供の充実</p> <p>①ホームページの充実</p> <p>②看護だよりの発行</p> <p>③社会への広報強化</p> <p>(2)「看護の日」普及促進</p> <p>①「看護の日・看護週間」</p> <p>②ふれあい看護体験</p> <p>2) 渉外活動【重1】【重4】</p> <p>(1)関係機関・団体との連携、協力</p> <p>①県・市町との連携・協力</p> <p>②関係団体との連携・協力</p> <p>3) 看護職賠償責任保険制度の活用</p> <p>4) 組織に関する事項【重4】</p> <p>(1)協会組織の強化</p> <p>①公益社団法人の運営</p> <p>②看護職能団体活動強化のための入会促進活動【重4-1】</p> <p>③会員サービスの充実</p> <p>(2)円滑な組織運営・評価</p> <p>①諸会議の開催</p> <p>②支部事業と連携・支援【重1・2・4】</p> <p>(3)会員登録管理・運営</p> <p>①日本看護協会との契約の締結・維持</p> <p>②「新会員情報管理体制」（ナースシップ）の管理・運用</p> <p>③キャリアナースの広報</p> <p>4)職員資質向上と福利厚生</p> <p>5)各種マニュアルの充実</p> <p>6)時間管理</p> <p>7)人間関係、協力体制の充実</p> <p>8)入社・退社契約書の遵守・啓蒙</p> <p>5) 施設管理に関する事項【重4】</p> <p>(1)建物設備の管理・運営</p> <p>(2)費用の積立</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 広報担当役員会議（2/28） - 広報出版委員会（年8回程度） - 看護関連情報、協会事業活動の更新 - 年4回発行（1月、4月、8月、10月） - 内容などについての評価、検討 - ホームページ掲載 - マスメディアの活用 - 計画的なニュースリリースの発行 - 記念講演会（5/12）13時～15時 講師：横石 知二 氏 - 1～7支部活動による「まちの保健室」 - 医療施設及び訪問看護ステーションにおけるふれあい看護体験 - 委員会での発言、情報交換、事業協力等 - 医療推進協議会等への参画、事業協力等 - 看護職賠償責任保険制度の情報提供 * 事務担当役員会議（未定） (年1回) - 役員、職員研修の開催 - 各ステーションにおける会計入力マニュアルの活用、検証 - 未入会者・施設への入会案内（月課入会率46%以上） - 入会促進のための施設訪問 - 定時総会（6/16） (月1回) - 委員会（職能） (委員会) (月1回) - 理事会（年7回）、業務執行理事会（月2回） (年1回) - 香川県看護代表者協議会（支部別2回、合同1回） (事業活動項目に掲載) - 地域医療構想調整会議等、各種会議への参加 - 「新会員情報管理体制」（ナースシップ）の管理・運用 * 新会員情報管理体制（ナースシップ）担当者会議（7/11） - キャリナースの広報（ホームページ・看護だより・研修等） - 運用上の課題、問題点の明確化 - 職員研修（各自1回以上の研修参加） - 新規採用者のスムーズな業務移行のため - 看護研修センター、訪問看護ステーション、看護小規模多機能型居宅介護在宅ケアステーションみちしるべ、駐車場 - 設備の整備、保守、修理等 - 施設保全マニュアル実践 - 施設設備保守計画の策定 - 会館建替積立資産（減価償却引当資産）積立 - 会館修繕積立資産（特定費用準備資金）積立

報告事項 2019年度収支予算

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	2,250,000	2,250,000		4,500,000
受取入会金	2,250,000	2,250,000		4,500,000
受取会費	22,500,000	22,500,000		45,000,000
受取会費	22,500,000	22,500,000		45,000,000
受取会館維持管理費	10,000,000	10,000,000		20,000,000
受取会館維持管理費	10,000,000	10,000,000		20,000,000
事業収益	316,040,000			316,040,000
研修事業等収益	27,600,000			27,600,000
一般研修事業収益	10,000,000			10,000,000
認定看護管理者教育事業収益	14,800,000			14,800,000
その他収益	2,800,000			2,800,000
受取委託費	41,420,000			41,420,000
看護職員合同就職説明会事業収益	500,000			500,000
訪問看護事業等収益	246,520,000			246,520,000
訪問看護ステーション事業収益	173,630,000			173,630,000
複合型サービス事業収益	45,000,000			45,000,000
訪問看護ネットワークセンター事業収益	7,200,000			7,200,000
居宅介護支援事業収益	20,890,000			20,890,000
受取補助金等	10,080,000	50,000		10,130,000
受取助成金	8,120,000			8,120,000
受取補助金等振替額	1,960,000	50,000		2,010,000
受取寄付金	0	800,000		800,000
受取寄付金	0	800,000		800,000
固定資産受贈益	200,000			200,000
固定資産受贈益振替額	200,000			200,000
雑収益	4,200,000	4,510,000	△ 1,920,000	6,790,000
手数料収益	200,000	10,000		210,000
雑収益	4,000,000	4,500,000	△ 1,920,000	6,580,000
経常収益計	385,270,000	40,110,000	△ 1,920,000	403,460,000
(2) 経常費用				
事業費	380,780,000		△ 1,920,000	378,860,000
役員報酬	16,000,000			16,000,000
給料手当	220,100,000			220,100,000
退職給付費用	7,790,000			7,790,000
法定福利費	29,430,000			29,430,000
福利厚生費	850,000			850,000
会議費	160,000			160,000
旅費交通費	6,650,000			6,650,000
通信運搬費	4,800,000			4,800,000
研修費	1,230,000			1,230,000
減価償却費	19,860,000			19,860,000
消耗品費	3,550,000			3,550,000
新聞図書費	650,000			650,000
修繕費	3,500,000			3,500,000
印刷製本費	3,090,000			3,090,000
光熱水料費	5,370,000			5,370,000
支払手数料	710,000			710,000
貸借料	13,590,000		△ 1,920,000	11,670,000
広告宣伝費	410,000			410,000
渉外費	2,590,000			2,590,000
諸謝金	255,000			255,000
諸謝金	22,580,000			22,580,000
諸会費	185,000			185,000
租税公課	5,280,000			5,280,000
医療材料費	520,000			520,000
車両費	2,870,000			2,870,000
支払寄付金	20,000			20,000
委託費	7,500,000			7,500,000
雑費	1,240,000			1,240,000
管理費		11,400,000		11,400,000
役員報酬		2,700,000		2,700,000
給料手当		800,000		800,000
退職給付費用		170,000		170,000
法定福利費		350,000		350,000
福利厚生費		30,000		30,000
会議費		60,000		60,000
旅費交通費		600,000		600,000
通信運搬費		310,000		310,000
減価償却費		1,700,000		1,700,000
消耗品費		310,000		310,000
新聞図書費		80,000		80,000
修繕費		130,000		130,000
印刷製本費		400,000		400,000
光熱水料費		410,000		410,000
支払手数料		250,000		250,000
貸借料		1,000,000		1,000,000
広告宣伝費		10,000		10,000
保険料		240,000		240,000
渉外費		200,000		200,000
諸謝金		560,000		560,000
諸会費		50,000		50,000
租税公課		100,000		100,000
支払負担金		400,000		400,000
車両費		10,000		10,000
支払寄付金		10,000		10,000
委託費		510,000		510,000
雑費		10,000		10,000
経常費用計	380,780,000	11,400,000	△ 1,920,000	390,260,000
経常外増減の部	△ 15,510,000	28,710,000	0	13,200,000
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 15,510,000	28,710,000		13,200,000
一般正味財産増減高				803,200,000
一般正味財産増減高				816,400,000
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産の振替額	△ 2,116,000	△ 50,000		
当期指定正味財産増減高	△ 2,160,000	△ 50,000		△ 2,210,000
指定正味財産増減高				95,000,000
III 正味財産期末残高				92,790,000
				909,190,000

予算の概要

収益については、会員数は前年度より150人増の7,500人（新規入会者含む）を見込んでいます。入会金・会費・会館維持管理費については、50%を公益目的事業会計の収益に、残り50%を法人会計の収益に計上しています。事業収益は、一般研修事業収益は前年と同額、認定看護管理者教育事業収益は、今年度はファーストレベル・セカンドレベルを開講のため800万円の増額となっています。訪問看護事業等収益については、事業拡大により2,800万円の増額を見込んでいます。

費用については、事業費の旅費交通費・諸謝金については、セカンドレベル開講により増額となっています。事業費・管理費の修繕費については、看護研修センターのエレベーター修理・受水槽修理等を計画し増額となっています。

2018年度

職能委員会活動報告

保健師職能委員会

保健師職能委員長 田中 邦代

3職能協働により3か年計画で取り組んだ「妊娠期から子育て世代への切れ目ない支援」について、会員皆様方のご協力をいただき大きな成果を上げることができました。ありがとうございます。現在は、「切れ目ない支援」のために、地域や病院の取り組み、助産師・看護師への支援の視点等をまとめ、さらに関係機関との連携を容易にすることを目的に周産期継続看護の連絡窓口の一覧表を作成中です。これらをまとめ、3か年の成果として職能合同交流集会で報告させていただく予定です。

また、人財育成検討グループは保健指導ミーティングの事業評価を行うため、市町・保健所にアンケート調査を行い現在分析中です。今後、調査結果を踏まえ、2019年度の研修を企画したいと考えています。

地域包括ケアシステムが推進される中、保健師職能としての機能が発揮できるよう、2019年度も皆様方のご協力をいただき活動したいと考えていますので、よろしく願いいたします。

助産師職能委員会

助産師職能委員 梶原 志保

2019年2月3日（日）に香川県助産師出向支援導入事業・助産実践能力の強化支援に向けての研修会を開催し、中堅助産師を中心に50名の参加がありました。

県立保健医療大学の竹内先生からは、分娩期の助産診断と助産ケアのご講義があり、確実な診断をもってケアを実践する重要性について再度学びを深めました。ほっこ助産院の松尾先生からは、助産院におけるフリースタイル分娩介助の実際を学び、グループに分かれての演習では実践に向けて、活発な意見交換やデモストが行われました。県立中央病院・高松赤十字病院からも院内助産についての発表があり、この研修で得た学びを自施設に持ち帰り、すべての妊産褥婦への充実した支援に繋げていこうと再認識しました。

看護師職能委員会 I 病院領域

看護師職能I委員長 細川 克美

職能委員会：2019年2月16日（土）9:00~12:00

*交流会のまとめ・今後の課題について検討し、活動報告のまとめを実施し下記の課題が得られた。

1 多職種連携における病棟看護師のさらなる専門性の発揮にむけた交流会

課題：多職種連携のためのシステムの整備と看護管理者の理解と支援、看護の専門性を高めるための人材育成システム構築が必要である。

2 地域包括ケアシステム構築にむけた看護管理者の連携に関する交流会

課題：看護管理者と統括保健師との連携構築、多職種との連携強化など、仕組みつくりと互いの情報を統合するシステムの整備が必要である。

看護師職能委員会 II 介護・福祉関係施設・在宅等領域

看護師職能II委員長 井上 香里

2019年2月15日（金）に「高齢者ケア施設看護管理者交流会」を開催し、29名が参加されました。交流会、「JNA 看護師のクリニカルラダー」の理解を深めるための講義、当委員会が作成中である「香川県版高齢者ケア施設における看護師のクリニカルラダー レベルI（案）」についての説明と意見交換を行いました。参加者からは、「クリニカルラダーについて基本的なことを学べたので良かった」「施設で働く看護師のモチベーションが少しでもアップし、働きやすい職場になっていけるように、これからも頑張りたい」などの感想をいただきました。

2019年1

第3

香川県看護



第35回香川県看護学会を終えて

学会委員長 中野 葉子

メイン
テーマ

看護の専
そして未来

第35回香川県看護学会を会員の皆様のご協力のもと開催できましたことを心から感謝申し上げます。

今回の演題は口演発表が14題、示説発表が15題、参加者数はここ10年間で最も多い408名と盛大な学会となりました。

今年度のメインテーマは『看護の専門性の探究そして未来への創造と継承』でした。少子高齢化の進展、疾病構造の変化、国民を取り巻く社会環境の変化、国民ニーズの多様化・高度化等、さまざまな課題があります。その課題に対して、我々、看護職には専門性と役割拡大が求められています。そのためには、看護の質の確保と豊かな看護の知と技が必要であり、先人の知と技を可視化した上で発展・創造させていくことが重要になります。

基調講演では金沢大学医学部附属病院前副院長兼看護部長 小藤幹恵氏に「身体抑制のない看護」、特別講演では、徳島赤十字ひのみね総合療育センター顧問 橋本俊顯氏に「脳科学の観点からの発達特性の理解と支援」についてご講演いただきました。看護の専門性を探求すべく、これまでの看護学の発展や成果をもたらした知識や技術の積み重ねを継承しつつ、変化する医療・看護を見据え、どのようなことを未来へ創造するのかを考える機会となったことと思われます。また、今年度も、研究・論文相談コーナーを設け、香川大学医学部看護学科教授 谷本公重先生に助言していただきました。相談の列は絶えず、研究を推進できる機会になっておりました。

本学会が皆さまの研究・交流の場となり、皆さまの研究の発展と本学会が香川の看護学の発展に寄与することを祈念いたします。



受付の様子



学会風景



質疑応答



企業展示

1月27日

5回 学会開催

専門性の探究
への創造と継承

【基調講演】

テーマ 「身体抑制のない看護」

講師 金沢大学附属病院 前副病院長兼看護部長
小藤 幹恵 氏



金沢大学附属病院前副病院長兼看護部長 小藤幹恵氏を講師にお迎えし、「身体抑制のない看護」のテーマで、ご講演いただきました。

金沢大学附属病院では、身体抑制を減らすことを目標に取り組みました。

そのための取り組みとして、臨床倫理カンファレンスの実施とカンファレンス内容の見直し、せん妄スクリーニングの作成と見直しなどを紹介されました。そのような取り組みを数年かけておこない、身体抑制ゼロを実現されました。

取り組みの中でも、とくに大切にされたことは「倫理」だそうです。倫理は身近な気づきからの始まりであり、「チューブをさわろうとする、ベッドから降りようとするのはなぜ？」と考えることが大切であると話されました。また、先回りという名の後回しをしていないか、発生後にしか対応できない方法をとっていないかとの問いかけがあり、ナースコールが鳴ってから患者のところへ行くのではなく、患者のニーズをとらえた看護を実践しようと言われました。

先生の話の中で、「チェックリストはケアではなく監視になっていませんか？」「身体抑制ではなく見守りをする事」などの言葉から、患者の表情の変化や求められていることに気づくあたりまえのことが日常のあたりまえになっていないことに気づき、思いやりのある看護や尊厳のある看護とはなにかをふりかえる良い機会となりました。

(広報出版委員 山下 薫)

【特別講演】

テーマ 「脳科学の観点からの発達特性の理解と支援」

講師 徳島赤十字ひのみね総合療育センター顧問 橋本 俊顕 氏



「発達障害」最近よく耳にする言葉ですが、自閉症やアスペルガー障害など脳機能の障害を脳科学の視点から説明していただきました。

私達が、集団の中で理解を示し、報告・連絡・相談を行なうことより、物事がうまく回るように環境を整えることがとても重要だと分かりました。困った時にさりげなく助けてあげられるような存在となり、お互い尊重し合える社会にするためにどのような支援をしていけば良いのかを具体的に教えていた講演でした。

(高松市立みんなの病院 滝井 京子)

【特別講演についてのアンケート結果より】

講演内容の満足度については、84.5%の人が「満足できた」「ほぼ満足できた」と回答しています。また、参加者からは次のような感想がありました。

- ・発達障害の様々なタイプの対処方法・支援の方法を具体的に教えていただいた。
- ・発達障害のある人への理解が深まり、関わり方法を学ぶことができた。自分自身の中で講義内容が腑に落ち、ASDの方への接し方、支援のあり方などすぐに役立つ内容だった。
- ・今後スタッフへの支援・指導に役立てたい。

在宅生活を支援する看護

在宅医療が推進される中、地域の実情に応じた医療や介護の対策が求められ、看護職同士、さらには多職種の繋がり希薄さが課題になっています。

在宅生活を希望される方々が、安心して住み慣れた地域で生活が送れるよう、切れ目ない支援が必要です。そのような支援に対応するためには、支部単位、市町、地域の単位で多職種との連携、看護職同士のネットワークの強化が必須条件と考えます。私たちは、看護職として、地域の中での役割を見出し、その機能が果たせるよう皆様方と力を合わせて活動を展開したいと考えています。



看護協会事業活動実践報告会で
会員にエールを送る中村会長

そのような趣旨のもと3月16日に平成30年度香川県看護協会事業実践報告会を開催しました。参加者は101名。最初に、中村会長から「これからの看護職と職能団体への期待」をテーマに講義をいただきました。参加者からは、「これからの看護職能団体の方向性を聞くことができた」「中村会長の熱い想いが伝わってきた」「生涯現役がんばりたい」などの感想が寄せられており、多くの方々が会長からパワーをいただいたようです。その後、7つの支部から支部活動報告、入会促進活動、助産師出向支援、新卒訪問看護師育成事業についての報告を行い、活動内容や課題を共有しました。参加者からは「協会事業や支部活動の理解に繋がった」「地域包括ケア推進の必要性を痛感した」「多職種連携のため研修会などに参加したい」などの声がありました。

次年度も、支部理事さんを中心に地域の実情に即した支部活動報告を行う予定です。会員皆様方の、アイデアも楽しみに地域の特色ある活動実践報告会が開催できますようお願いしています。

今回は、活動実践報告を行わなかった「職能委員会活動の取り組み」と、「子育て世代包括ケアシステム推進のためのモデル事業実施後の地域の取り組み」をご報告させていただきます。

(ナースセンター部長 田中 邦代)

(1) 妊娠期から育児期までの切れ目ない支援を考える多職種連携

研修会「子育ての主体は地域社会 親子を支える支援を考える」 を開催して

2018年12月16日(日)、とよたまこころの診療所所長鷺山拓男氏を講師に、三職能合同研修会を開催した。当日は施設や地域から保健師、助産師、看護師、保育士、教員など多職種82名の参加があり、虐待予防や妊産婦へのメンタルヘルスを含む支援など、テーマへの関心の高さが伺えた。鷺山氏は、「虐待予防は母子保健の本来の業務であり、医療職の関わりでしか虐待の防止にはつながらない」と、実践例や研究をもとに、私達医療職の母子へ関わり方の大切さを熱く語って下さった。私達は母子支援における役割を再認識したとともに、様々なストレスを抱えている親に対して、「指導ではなく支援する」という関わり方を大切に、親と子どもを仲間として地域社会で支えて行かなければならないと、奮い立たされた。講演後のグループワークでは、多職種それぞれの立場からの母子支援の現状や課題について話しあうことで、今後のさらなる連携と情報共有の必要性を認識することができ、施設と地域で活動する職種間で顔の見える関係を築くことができる有意義な研修となった。

(助産師職能委員 澤田 裕子)

職としての機能を発揮するために

(2) 子育て世代包括ケアシステム推進のためのモデル事業実施後の地域の取り組み

モデル事業のその後 ～小豆圏域での取り組み～

日本看護協会が進める「子育て世代包括ケアシステム構築のためのモデル事業」に、平成29年度は小豆圏域として、県小豆総合事務所（小豆保健所）、土庄町、小豆島町、小豆島中央病院が香川県看護協会と協働して取り組みました。モデル事業では、管内における母子保健の現状と課題を共有し、意見交換を行いながら、看護職間の連携強化を図りました。その中で、エジンバラ産後うつ質問票で高得点になる事例が多くいること、そのような事例に対して精神科との連携がスムーズにいかないこと、支援者のスキルアップが必要であることなどの課題が明らかとなりました。それを受けて、平成30年度から実施している「小豆地区妊産褥婦メンタルヘルス相談体制」を構築する取り組みについて報告します。

既存の周産期関係者会の場合を活用し、2つの取り組みを重点的に行っています。この周産期関係者会は、毎年度小豆保健所主催で行っていましたが、モデル事業での課題を受けて、周産期医療と保健部門に加え、今年度は精神科医療機関（医師、精神保健福祉士）の参画を得て開催しているのが特徴です。1つ目は関係者会の中で定期的に事例検討を交え、看護職の支援スキルの向上と支援体制の構築を図りました。そして、2つ目の取り組みは、小豆保健所がワンストップ窓口となることにより、精神科の主治医がない場合でも、患者や家族又は周産期医療機関や町が精神科医にタイムリーに相談できる体制を整備したことです（図1、2参照）。まだ始まったばかりですが、今後事例を重ねていく中で、メンタルに不調を抱える妊産褥婦の支援体制を充実させていきたいと思えます。

小豆圏域では、平成28年度に「住民だれもが住み慣れた地域で尊厳を持ち、いきいきと暮らせるよう、小豆島中央病院を核とした総合的かつ一体的なサービスの提供と関係機関の連携、システムの構築」が提言されています。小豆総合事務所は、今後も、全世代型の地域包括ケアシステムの構築に向けて、小豆島中央病院や管内2町をはじめとするあらゆる関係機関と気の張らない関係の中で、連絡調整を積極的に行っていきたいと考えています。

（前香川県小豆総合事務所（小豆保健所） 保健福祉課 課長 松原佳代子）

図1

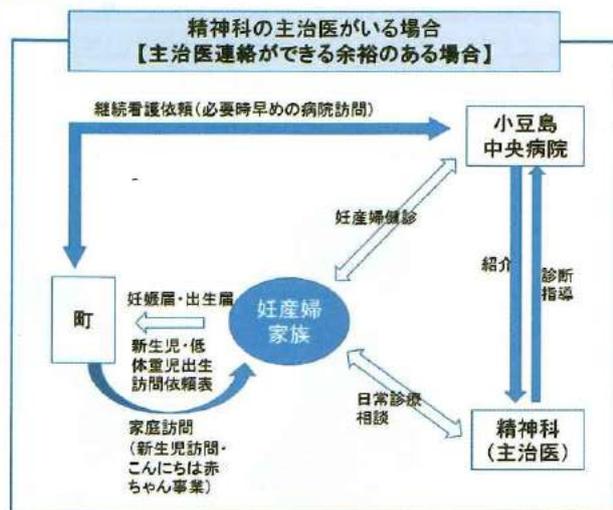
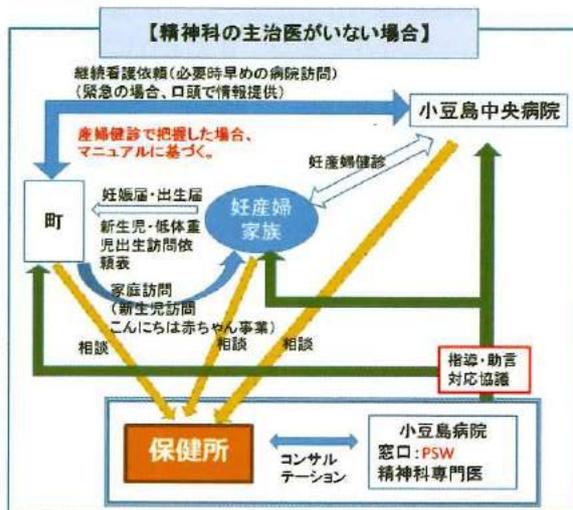


図2



平成30年度

受賞者のご紹介

受賞おめでとうございます。
永年のご活躍に敬意を表し、
心よりお祝い申し上げます。

第47回医療功労賞
厚生労働大臣賞



元 多度津町福祉保健課課長（保健師）

藤原 安江 様

看護専門職として第1歩を踏み出す皆さまへ — 少子超高齢社会が看護職に期待すること —

講師：公益社団法人 日本看護協会 副会長 香川県立保健医療大学 学長 井伊久美子氏



2019年2月23日（土）、本年度国家試験を受験した看護学生182名が参加して、研修会が開催されました。1週間前に国家試験が終了したばかりの学生は、少し肩の力が抜けほっとした表情でした。

講師は、看護職として第1歩を踏み出すにあたり看護職として直面する課題や医療を取り巻く環境に対応するために、日本看護協会としての取り組みを具体的に話された。学生からは、「病院看護だけでなく、在宅や施設など患者のニーズに合わせて看護する大切さがわかった。看護職として責任と自覚を持ち、地域とのつながりや、今後の日本の現状に合わせた看護を実践していきたい。

認定看護師や看護師の役割拡大について興味を持った。」など、4月からの新生活に希望と期待をこめた意見が多く満足度の高い講演会となった。
(専務理事 安藤 幸代)

特定行為研修を修了した看護師の実践報告(第3報)

香川大学医学部附属病院 秋山 恭子

私は、2017年に日本看護協会の特定行為研修を受講し、5区分14行為の研修を修了しました。現在は救命救急センターICUのスタッフとして、特定行為の実践をしています。

特定行為研修を修了したことで、手順書に沿って自ら判断し呼吸器の設定変更や動脈ラインの留置、薬剤の流量変更などを行うことができるようになりました。これまでは、救急患者の対応に追われている医師に報告をためらうことがありました。現在は介入を必要としている患者さんに自分で考え、より迅速な対応を行うことが可能になりました。また、特定行為を行うようになったことで他職種のスタッフと話し合う機会も自然と増え、医師だけではなく、リハビリスタッフや薬剤師など他職種間の調整を行うことも多くなったと感じています。

特定行為は始まって間もない制度で、その内容や手技が注目されがちですが、その行為が必要であると考えた自身の思考過程を伝え、他のスタッフとともに患者の病態をアセスメントすることを重視するよう心がけています。例えば、血圧が上がった時には、手順書に基づき「持続投与中の降圧剤の投与量の調整」を行うことが可能ですが、血圧を上昇させている原因が何なのか、薬剤を調整する前に先ずはその原因を解消することができないのか、患者さんの変化を常にそばで見ている看護師だからからこそできるアセスメント能力を、これからも磨き続けることが重要だと感じています。



【2019年度 4月～9月開催の研修案内】

2019年度は、JNAラダーレベル到達のための研修を企画しました。ぜひご参加ください。
詳細につきましては、看護研修計画冊子、ホームページをご覧ください。 ※変更箇所

保存版

開催月	研修No.	研修名	研修日	研修時間等	申込期間
4月	1	看護研究の基本	4/13(土)・4/21(日)	10:00～16:00	3/15～3/29
	2	★DVD研修 看護師のクリニカルラダー(普及用)	4/20(土)	13:30～16:00	3/23～4/6
	3	新人看護職員多施設合同研修 新人看護師対象研修	4/25(木)～8/29(木)	5日間	4/3～4/13
5月	4	論文・レポートのまとめ方	5/11(土)	10:00～16:00	4/10～4/27
	5	「看護の日・看護週間」記念講演会	5/12(日)	13:00～15:00	～4/26
	6	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	5/17(金)～8/9(金)	9:30～16:30	2/8～2/19
	7	臨床研究を完成させてみよう ～自分のベースに合ったサポートで～	5/18(土)・6/22(土)・7/20(土)	9:00～12:00	4/10～4/27
6月	8	訪問看護入門研修	5/25(土)・6/1(土)	1. 5日間	4/10～4/27
	9	【JNAラダーレベルIII到達のための研修】 ケアに活かす画像の知識～読める・わかる・ケアにつながる～	6/1(土)	9:30～12:00	5/2～5/18
	10	新人看護職員多施設合同研修 実地指導者対象研修	6/7(金)～9/21(土)	4日間	5/13～5/25
	73	喀痰吸引等研修事業介護施設等看護師等研修	6/11(火)	13:30～16:30	別途通知
	11	認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	6/19(水)～12/6(金)	9:30～16:30	3/8～3/19
	12	【JNAラダーレベルIII到達のための研修】 【新企画】小児の虐待～気づきますかこどもからのSOS～	6/23(日)	13:30～16:00	5/25～6/8
	13	新人看護職員多施設合同研修 教育担当者対象研修	6/28(金)～10/6(日)	4日間	5/13～5/25
	14	新人看護職員多施設合同研修 研修責任者対象研修	6/28(金)～10/6(日)	3日間	5/13～5/25
	15	★DVD研修「急性期看護補助加算・看護補助加算」対応研修 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版2018	6/29(土)	10:00～16:00	5/25～6/8
	16	訪問看護推進研修	6/29(土)～12/14(土)	8回	各開催日の1週間前
7月	17	★衛星研修 '19 重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修	6/30(日)	9:30～17:00	申込先 https://ksh.jp/19/06/
	18	看護力再開発講習会 基本コース 第1回	7/5(金)～7/30(火)	7日間	開催初日の2週間前
	19	【JNAラダーレベルIII到達のための研修】 看護倫理	7/6(土)	10:00～16:00	6/8～6/22
	20	「訪問看護eラーニング」活用による訪問看護師養成講習会	7/6(土)～11/30(土)	11日間	5/1～5/31
	21	これからの看護の展望 ～あらゆる場で看護の力を発揮できる看護職の育成～	7/14(日)	13:30～16:30	6/15～6/29
	22	【新企画】査読の視点を学ぶ	7/15(月・祝)	9:00～12:00	6/15～6/29
	23	★オンデマンド研修 災害支援ナースの第一歩 災害看護の基本的知識	7/18(木)・7/19(金)	9:30～16:30	6/13～6/26
	24	【新企画】地域包括ケアにおける地域マネジメント ～多職種協働チームの多様なデザインとは～	7/21(日)	*13:00～16:00	6/22～7/6
	25	【JNAラダーレベルIII到達のための研修】 【新企画】AYA世代のがん看護	7/27(土)	13:30～16:30	6/29～7/13
	26	【JNAラダーレベルII到達のための研修】 感染1 ベッドサイドの感染対策	8/4(日)	9:30～12:30	7/6～7/20
8月	27	【新企画】災害支援ナース 新規登録者研修	8/7(水)	9:00～12:30	7/6～7/20
	74	新人看護職員多施設合同研修 新人助産師対象研修	8/17(土)～2020年2/15(土)	6日間	7/8～7/22
	75	★DVD研修 看護師のクリニカルラダー(普及用)	8/17(土)	13:30～16:00	7/20～8/3
	76	看護力再開発講習会 看護基礎技術コース(演習)第1回～3回	8/19(月)・9/3(火)・9/18(水)	半日	各開催日の1週間前
	29	【JNAラダーレベルIII到達のための研修】 がん患者の感情表出を促すコミュニケーションスキル	8/24(土)	13:30～16:30	7/27～8/10
	30	【JNAラダーレベルIV到達のための研修】 看護に活かそう臨床推論～患者の病態予測をケアにいかす～	8/31(土)	13:30～16:00	8/3～8/17
	72	医療安全管理者養成研修	8月～11月	7日間	6/14～6/28
9月	32	災害支援ナース フォローアップ	9/6(金)	13:30～16:30	8/19～8/23
	33	糖尿病重症化予防「フットケア」研修	9/7(土)・9/8(日)・9/9(月)	3日間	7/13～7/27
	34	【新企画】法的観点からの看護記録のあり方	9/7(土)	9:00～12:00	8/10～8/25
	35	保健師助産師看護師実習指導者講習会	9/9(月)～11/28(木)	40日間	7/8～7/19
	36	看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ	9/11(水)	9:30～16:00	8/1～8/23
	37	【JNAラダーレベルII到達のための研修】 一般病棟におけるせん妄予防対策	9/14(土)	9:30～12:30	8/17～8/31
	38	【新企画】医療法務弁護士が提案する 暴言暴力ハラスメントから職員を守る段階的対応	9/21(土)	10:00～16:00	8/24～9/7
	39	★オンデマンド研修「認知症ケア加算2」に対応した研修 認知症高齢者の看護実践に必要な知識	9/26(木)・9/27(金)	9:30～16:30	8/10～8/26
16	【新企画】事例研究とは	9/28(土)	9:30～12:30	8/10～8/26	

理事会報告

第6回 平成31年2月2日(土) 9:00~12:40

協議事項

1. 2019年度重点事業(案)及び事業計画(案)について(承認)
2. 2019年度教育計画(案)について(承認)
3. 2019年「看護の日・看護週間」記念講演会プログラム(案)について(承認)
4. 2019年度定時総会及び職能合同交流集会プログラム(案)について(承認)
5. 2019年度職能委員・委員選出(案)について(承認)
6. 2019年度香川県看護協会定時総会議長団、議事録署名人、選挙管理委員(案)について(承認)
7. 訪問看護ステーションくぶ増築について(承認)
8. 認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了審査について(承認)

9. 2019年度 認定看護管理者教育課程(ファーストレベル・セカンドレベル)募集要項(案)について(承認)
10. 認定看護管理者教育課程規則細則改正(案)について(承認)
11. 第51回日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会準備委員(案)について(承認)

第7回 平成31年3月9日(土) 9:00~12:00

協議事項

1. 平成30年度第3 四半期会計報告、監査報告(案)について(承認)
2. 平成30年度重点事業報告(承認)
3. 2019年度重点事業(案)及び事業計画(案)について(承認)
4. 2019年度予算(案)について(承認)
5. 認定看護管理者教育課程(ファーストレベル)の応募状況と受講決定(案)について(承認)

お知らせ

専門職能団体 看護協会への入会を!!!

速報

香川県立保健医療大学における看護教育の拡充

少子高齢社会が進む中、看護師等には、より専門性の高い看護・技術が求められ、役割が拡大しています。地域の期待に応えられる人材養成を目指し、香川県立保健医療大学では、2020年入学生から看護基礎教育を完全4年制化し、2024年度から保健師・助産師教育を大学院化することが、浜田香川県知事から発表されました。

1 2019年度「看護の日・看護週間」行事について

日時：2019年5月12日(日)13:00~15:00
場所：公益社団法人香川県看護協会看護研修センター

- 内容：1) 式典
2) 記念講演
テーマ：「葉っぱビジネス仕掛け人に聞く 地方活性化の秘訣」
—人生100年時代にみんなが元気になる地域をめざして—
講師：横石 知二(株式会社いろどり 代表取締役社長)

2019 5/12 看護の日・看護週間 記念講演会
公開講座
日時：5月12日(日) 13:00~15:00
会場：香川県看護協会看護研修センター
講師：横石 知二
「葉っぱビジネス」とは、日本製菓を美しく誇る専攻の菓子師、山崎位づつ子氏の「産・製菓・出張・販売」する事業ビジネスです。
講師は、産物向上運動の推進者として、産物の増産・増産に貢献し、女性や高齢者で事業の拡大をビジネスとして、業種の活性化を図った経験があります。その経験から産物向上運動に力を入れている仕掛け人に聞く講演会を開催します。

公益社団法人 香川県看護協会看護研修センター
〒769-0102 香川県高松市平野町192-4
申込：お申し込みは、4月24日(金)までに、下記までお申し込みください。お申し込みの際は「キャリアアップおかげが」または「お申し込み書」を添付してお申し込みください。
お申し込みは、下記の申込書に記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。
お申し込み先：公益社団法人香川県看護協会

参加費・駐車料金は【主催・お問合せ先】
公益社団法人香川県看護協会
TEL:087-894-9070 FAX:087-894-9071
Eメール:info@kaiwan-kaiyo.com
http://kaiwan-kaiyo.com

2 2019年度合同委員会の開催について

日時：2019年6月22日(土) 9:30~12:00
場所：公益社団法人香川県看護協会看護研修センター
定時総会要綱を持参ください(総会出席者のみ)

3 看護代表者協議会(全体会)

日時：2019年7月14日(日) 10:30~12:00
場所：公益社団法人香川県看護協会看護研修センター
13:30~日本看護協会会長 福井トシ子氏の講演会があります

4 公益社団法人日本看護協会から 2019年度「医療従事者のWLBインデックス調査」のご案内

医療機関に勤務する全職員を対象として調査が可能です。
申し込み締切 4月26日
ご希望があれば香川県看護協会事務局にご連絡をお願いします

5 新人対象ナースカフェ 「café キャリアインボー」

日時：2019年6月29日(土) 13:30~15:00
場所：公益社団法人香川県看護協会看護研修センター

6 寄付について

藤原安江さん(元多度津町保健師)より看護協会会館維持管理費積み立て金として寄付金をいただきました。ありがとうございました。

7 看護研修等受講料金の税率について

2019年度は、研修開催日の税率をお願いします。

受講料金	税率8%	税率10%
1500円	1620円	1650円
3000円	3240円	3300円

編集後記

桃の花の花言葉の一つに「自立した女性」があります。桃の花をみると、桃の花のトンネルを自転車でスカートをなびかせながら、看護学校に通っていたことを思い出しました。皆さんにも「思い出の花や景色」はありませんか?皆様の思いでの写真を募集しております。

